

公衆衛生のポイント

過去出題数(H25~R5)

1	病原体と感染経路・衛生害虫	16 問
2	環境・公衆・生活衛生	14 問
3	衛生統計	12 問
3	感染症	12 問
5	生活習慣病	10 問
5	労働衛生	10 問
7	WHO・日本国憲法	9 問
7	公害	9 問
9	保健所の業務	7 問

<病原体と感染経路・衛生害虫>



【最重要キーワード】

結核は細菌

ペストは細菌

ジフテリアは細菌

つつが虫病はリケッチア

マラリアは原虫

オウム病はクラミジア

コレラは経口感染

結核は飛沫・空気感染

日本脳炎は蚊

マラリアは蚊

発しんチフスはシラミ

ペストはノミ・ネズミ

ネズミや衛生害虫の駆除は発見した場所に限定せず、広い範囲で行う。

病原体

原虫	<u>マラリア</u> 、赤痢、トキソプラズマ症
真菌	皮膚糸状菌症(水虫・たむし)
スピロヘータ	梅毒、回帰熱
細菌	ペスト、 <u>コレラ</u> 、結核菌、腸チフス、破傷風、ジフテリア、パラチフス
リケッチア	ツツガ虫病、Q 熱
クラミジア	<u>オウム病</u>
ウイルス	デング熱、 <u>日本脳炎</u> 、狂犬病、E 型肝炎、エイズ、麻疹(はしか)、おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)、水痘(みずぼうそう)
プリオン	狂牛病、クロイツフェルト・ヤコブ病

真核生物(核膜あり)	線虫	多細胞生物(アニサキス)
	原虫	単細胞の微生物(マラリア)
	真菌	カビ・きのこ・酵母の仲間(白癬菌)
原核生物(核膜なし)	スピロヘータ	大型の細菌、鞭毛を持たない
	細菌	球菌や桿菌、らせん菌など
	リケッチア	生きた細胞内でしか増殖できない。節足動物の媒介が必要。小さい。
	クラミジア	生きた細胞内でしか増殖できない。節足動物の媒介は不必要。非常に小さい。
非生物	ウイルス	核酸(DNA または RNA)を持つ
	プリオン	核酸も持たない。たんぱく質。神経組織を変性させる

感染経路

経口感染	手指・食品・器具を介して伝染	<u>赤痢</u> 、 <u>コレラ</u>
飛沫感染	飛沫やじんあいを吸い込むことによる感染	<u>インフルエンザ</u> 、 <u>結核</u> 、 <u>風疹</u> 、 <u>おたふくかぜ</u> 、 <u>百日咳</u>
接触感染 経皮感染	感染源(動物・昆虫・寄生虫・病原体)に直接接触れる・刺される・かまれることによって感染	<u>破傷風</u>
空気感染	飛沫核を吸い込むことによる感染	<u>結核</u> 、 <u>はしか(麻疹)</u> 、 <u>水ぼうそう</u>
母子感染	病原体が胎盤や母乳、産道を通じて感染します。	<u>風疹</u> 、 <u>B・C型肝炎</u> 、 <u>HIV</u> 、 <u>トキソプラズマ</u> 、 <u>性器クラミジア</u>

媒介動物

<u>日本脳炎</u>	ブタ→蚊(コガタアカイエカ)
<u>マラリア</u>	蚊(ハマダラカ)
<u>ペスト</u>	ノミ・ねずみ
疥癬	ヒゼンダニ
<u>ツツガムシ病</u>	ツツガムシ(ダニの一種)
<u>赤痢</u>	ハエ
発疹チフス	コロモジラミ

覚えよう！【出た順まとめ】

(細菌)

- ★★★コレラは細菌(R3)(H29)(H27)
- ★結核は細菌(R3)
- ★腸チフスは細菌(H29)
- ★破傷風は細菌(H28)
- ★ペストは細菌(H28)
- ★ジフテリアは細菌(H26)
- ★パラチフスは細菌(H25)

(原虫)

- ★★★マラリアは原虫(R3)(H27)(H25)
- ★アメーバ赤痢は原虫(H27)
- ★トキソプラズマは原虫。(H26)

(ウイルス)

- ★★日本脳炎はウイルス(H28)(H25)
- ★エイズはウイルス(H29)
- ★デング熱はウイルス(H27)
- ★狂犬病は、ウイルス。(H26)

(クラミジア)

- ★★オウム病はクラミジア(H28)(H25)

(リケッチア)

- ★つつが虫病はリケッチア(H29)
- ★Q熱はリケッチア。(H26)

(真菌(カビ))

- ★白癬(水虫)は真菌(R3)

(媒介動物)

- ★★★★★日本脳炎は蚊(R3)(R2)(H30)(H26)(H25)
- ★★★★マラリアは蚊(R5)(H31)(H30)(H26)
- ★★★★ペストはノミ・ネズミ(R5)(R3)(H30)(H26)
- ★★★つつが虫病はダニ(R3)(H31)(H25)
- ★★★赤痢はハエ(H30)(H26)(H25)
- ★疥癬はダニ(R3)
- ★発しんチフスはシラミ(H25)

(感染経路)

- ★★★インフルエンザは飛沫感染(R5)(R2)(H27)
- ★★コレラは経口感染(R2)(H31)
- ★★赤痢は経口感染(H31)(H27)
- ★★破傷風は接触経皮感染(R2)(H27)
- ★百日咳は飛沫感染(R5)
- ★麻疹(はしか)は飛沫感染(R5)
- ★結核は飛沫・空気感染。(H27)

(駆除)

- ★★ネズミや衛生害虫の駆除は発見した場所に限定せず、広い範囲で行う。(H30)(H27)
- ★★ネズミや衛生害虫の生態、習性に応じて行う。(H30)(H27)
- ★食品の密封保管を行う。(H30)
- ★ネズミについては、侵入口の閉鎖が効果的である。(H30)
- ★発生源を除くこと。(H27)
- ★なるべく発生初期に行うこと。(H27)

解いてみよう！【過去問】

問1 感染症の主な感染経路と疾患名の組合せとして、正しいものを一つ選べ。(R5-6)

- | | |
|----------|---------|
| 1 空気感染 | マラリア |
| 2 飛沫感染 | 百日咳 |
| 3 媒介動物感染 | インフルエンザ |
| 4 母子感染 | 麻疹 |

問2 感染症とその病原体の種類の組合せで、誤っているものを一つ選べ。(R3-6)

- | | |
|----------|------|
| 1 結核 | ウイルス |
| 2 コレラ | 細菌 |
| 3 白癬(水虫) | 真菌 |
| 4 マラリア | 原虫 |

問3 衛生害虫とそれに媒介される疾病の組合せで、正しいものを一つ選べ。(R3-8)

- | | |
|--------|-------|
| 1 ゴキブリ | 疥癬 |
| 2 ハエ | つつが虫病 |
| 3 マダニ | 日本脳炎 |
| 4 ノミ | ペスト |

問4 感染症の感染経路と疾患名の組合せで、誤っているものを一つ選べ。(R2-8)

- | | |
|---------------|---------|
| 1 経口感染 | コレラ |
| 2 飛沫感染 | インフルエンザ |
| 3 シラミの媒介による感染 | 日本脳炎 |
| 4 接触感染 | 破傷風 |

問 5 感染症の感染経路と病名の組合せとして、誤っているものを一つ選べ。(H31-7)

- | | |
|--------------|-------|
| 1 飛沫感染 | コレラ |
| 2 経口感染 | 赤痢 |
| 3 ダニの媒介による感染 | つつが虫病 |
| 4 蚊の媒介による感染 | マラリア |

問 6 ネズミや衛生害虫とそれに媒介される疾病の組合せについて、誤っているものを一つ選べ。(H30-8)

- | | |
|-------|------|
| 1 ネズミ | ペスト |
| 2 ハエ | 赤痢 |
| 3 蚊 | 日本脳炎 |
| 4 ノミ | マラリア |

問 7 ネズミや衛生害虫の駆除等の対策において重点を置くべきことについて、誤っているものを一つ選べ。(H30-10)

- 1 ネズミや衛生害虫の生態、習性に応じて行う。
- 2 ネズミや衛生害虫を発見した場所に限定して、狭い範囲だけ行う。
- 3 食品の密封保管を行う。
- 4 ネズミについては、侵入口の閉鎖が効果的である。

問 8 病原体と感染症の組合せについて、誤っているものを一つ選べ。(H29-9)

- | | |
|--------|-------|
| 1 ウイルス | エイズ |
| 2 細菌 | コレラ |
| 3 原虫 | つつが虫病 |
| 4 細菌 | 腸チフス |

問 9 感染症と病原体の組合せについて、誤っているものを一つ選べ。(H28-9)

- | | |
|--------|-------|
| 1 日本脳炎 | ウイルス |
| 2 オウム病 | クラミジア |
| 3 破傷風 | 細菌 |
| 4 ペスト | ウイルス |

問 10 感染症とその病原体の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H27-9)

- | | |
|----------|------|
| 1 アメーバ赤痢 | 細菌 |
| 2 マラリア | 原虫 |
| 3 コレラ | ウイルス |
| 4 デング熱 | 細菌 |

問 11 ネズミや衛生害虫の駆除において重点を置くべきことについて、誤っているものを一つ選べ。(H27-10)

- 1 発生源を除くこと。
- 2 なるべく発生初期に行うこと。
- 3 目的の動物を発見した場所に限定して、狭い範囲に行うこと。
- 4 目的の動物の生態、習性に応じて行うこと。

問 12 感染症の感染経路と病名の組合せについて、誤っているものを一つ選べ(H27-11)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 飛沫感染 | インフルエンザ |
| 2 経口感染 | 赤痢 |
| 3 昆虫の媒介感染 | 結核 |
| 4 経皮感染 | 破傷風 |

問 13 そ族や衛生害虫とそれに媒介されることによって起因する疾病の組合せについて、誤っているものを一つ選べ。(H26-7)

- | | |
|-------|------|
| 1 ハエ | 赤痢 |
| 2 カ | 日本脳炎 |
| 3 ネズミ | ペスト |
| 4 ノミ | マラリア |

問 14 感染症と病原体の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H26-9)

- | | |
|------------|-------|
| 1 トキソプラズマ症 | ウイルス |
| 2 Q熱 | クラミジア |
| 3 狂犬病 | リケッチア |
| 4 ジフテリア | 細菌 |

問 15 次のうち、感染症の病原体と疾病の組合せとして、誤っているものはどれか。(H25-7)

- | | |
|---------|-------|
| 1 ウイルス | 日本脳炎 |
| 2 リケッチア | オウム病 |
| 3 細菌 | パラチフス |
| 4 原虫 | マラリア |

問 16 次のうち、感染症とその媒介するものの組合せとして、正しいものはどれか。(H25-8)

- | | |
|----------|-----|
| 1 日本脳炎 | ネズミ |
| 2 赤痢 | 蚊 |
| 3 つつがむし病 | ノミ |
| 4 発しんチフス | シラミ |

正答・解説【過去問】

問1 正答2

- 1 マラリアは、蚊による媒介動物感染
- 3 インフルエンザは、飛沫感染
- 4 麻疹は、空気感染

問2 正答1

- 1 結核は細菌(結核菌)

問3 正答4

- 1 疥癬はダニ
- 2 つつが虫病はダニ
- 3 日本脳炎は蚊

問4 正答3

- 3 日本脳炎は蚊

問5 正答1

- 1 コレラは経口感染

問6 正答4

- 4 マラリアは蚊

問7 正答2

- 2 ネズミや衛生害虫を発見した場所に限定せず、広い範囲で行う。ネズミの行動範囲は半径10数メートル、ゴキブリ5メートル、ハエ400メートル。

問8 正答3

- 3 ツツガムシ病はリケッチア。リケッチアは、細菌より小さくウイルスより大きい微生物。原虫は、単細胞の運動性を持つ微生物。

問9 正答4

- 4 ペストは細菌(ペスト菌)

問 10 正答 2

- 1 アメーバ赤痢は、大腸に寄生するアメーバ(原虫)による赤痢。
- 3 コレラは、細菌(コレラ菌)
- 4 デング熱は、ウイルス

問 11 正答 3

- 3 ネズミや衛生害虫を発見した場所に限定せず、広い範囲で行う。ネズミの行動範囲は半径 10 数メートル、ゴキブリ 5 メートル、ハエ 400 メートル。

問 12 正答 3

- 3 結核は飛沫感染・空気感染。

問 13 正答 4

- 4 マラリアは蚊

問 14 正答 4

- 1 トキソプラズマは原虫
- 2 Q熱はリケッチア
- 3 狂犬病は、ウイルス

問 15 正答 2

- 2 オウム病はクラミジア。クラミジアは、ウイルスのように宿主細胞の中でしか増殖できないが、細胞壁をもち自己分裂する細菌のような特徴を持つ。免疫がでにくい。

問 16 正答 4

- 1 日本脳炎は蚊
- 2 赤痢はハエ
- 3 ツツガムシ病はダニ

<環境衛生・公衆衛生・生活環境他>



【最重要キーワード】

令和元年度末の日本の下水道処理人口普及率は 80.6%、水道普及率は 98%

空気の主な組成は、窒素が約 78%、酸素が約 21%である

産業廃棄物は、排出事業者の責任で処理をしなければならない

日本国憲法において、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。

「シックハウス症候群」の原因となる代表的な化学物質として、ホルムアルデヒドがある。

水道法の規制により、各戸の水道の蛇口から出る水には、0.1mg/L以上の遊離残留塩素を含まなくてはならない。

室内の一酸化炭素濃度が増加すると頭痛やめまいがおこる。

赤外線は熱を生じて温かく感じる

水質汚濁の発生源として、近年最も多いのは生活排水である。

紫外線は日射病の原因ではない

冬の衣服の衣服の形は開放性でないものがよい

介護保険の給付を受けるためには、市町村の窓口にて認定申請をする

覚えよう！【出た順まとめ】

(空気・大気汚染)

★★★★★空気の主な組成は、窒素が約78%、酸素が約21%である。(R5)(R3)(H31)(H28)(H26)(H25)

★★★「シックハウス症候群」の原因となる代表的な化学物質として、ホルムアルデヒドがある。(R3)(H31)(H29)

★★PM2.5とは、大気中に浮遊している粒径2.5 μ m以下の小さな粒子(微小粒子状物質)のことである。(R4)(H26)

★室内の一酸化炭素濃度が増加すると頭痛やめまいがおこり、死に至る場合がある。(R3)

(水道)

★★★★★上水道には、水道法により水道水質基準が定められており、大腸菌は検出されないこととされている。※検出されないこととされているのは大腸菌のみ(R5)(R4)(R3)(H29)(H26)

★令和元年度末の日本の下水道処理人口普及率は80.6%、水道普及率は98%。(R4)

★水道法の規制により、各戸の水道の蛇口から出る水には、0.1mg/L以上の遊離残留塩素を含まなくてはならない。(H26)

(紫外線・赤外線)

★★紫外線はビタミンD生成作用がある。(H31)(H27)

★★紫外線は日焼けの原因となる。(H31)(H27)

★紫外線は殺菌作用がある。(H31)

★赤外線は熱を生じて温かく感じる。(H31)

★紫外線は雪面からの反射で雪眼炎の原因となる。(H27)

★紫外線は日射病の原因ではない。(H27)

(衛生害虫)

★★ねずみや衛生害虫(ハエ、ゴキブリなど)は感染症を媒介するので、予防上、これらの駆除は重要である。(R4)(H29)

(光)

★太陽光を取り入れて室内を明るくすることを採光という。(R3)

★人工光源により、室内を明るくすることを照明という。(H31)

(湿度)

- ★室内の快適な湿度の目安は、40～60%である。(R3)
- ★湿度は、カビの発生に大きく影響する。(H31)

(廃棄物)

- ★産業廃棄物は、排出事業者の責任で処理をしなければならない。(R5)(R3)
- ★主に日常生活から排出される一般廃棄物の排出量は、減少傾向にある。(R3)
- ★食品リサイクル法に基づき、食品に関しても、食品廃棄物の発生抑制などが推進されている。(H29)

(国の責務)

- ★日本国憲法において、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。(R2)
- ★公衆衛生活動は一般に、一次予防(健康増進)、二次予防(早期発見)、三次予防(機能回復)の三段階に分け、行われている。(R2)

(労働衛生)

- ★労働衛生行政を担う国の機関は、厚生労働省である。(R2)

(保健所)

- ★保健所の設置主体は、都道府県である。(R2)

(衣服)

- ★冬の衣服の素材は熱が逃げにくいものがよい(H25)
- ★冬の衣服の衣服の形は開放性でないものがよい(H25)
- ★冬の衣服の素材は保温効果が高いものがよい(H25)
- ★冬の衣服の素材は熱を吸収しやすいものがよい(H25)

(介護保険)

- ★給付を受けるためには、市町村の窓口で認定申請をする。(H25)
- ★被保険者は、第1、2号被保険者からなる。(H25)
- ★市町村に設置される介護認定審査会において、要介護認定の審査・判定が行われる。(H25)
- ★要介護度の区分は、要介護5が最も重い。(H25)

解いてみよう！【過去問】

問1 環境衛生に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R5-5)

- 1 空気の主な組成は、酸素が約41%、窒素が約51%である。
- 2 水道法に基づく水道水の水質基準において、フェノール類は検出されないことと規定されている。
- 3 蚊が媒介する感染症には、ペストがある。
- 4 産業廃棄物は、排出した事業者の責任で処理しなければならない。

問2 環境衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R4-9)

- 1 PM2.5 とは、大気中に浮遊している粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さな粒子(微小粒子状物質)のことである。
- 2 令和元年度末の日本の下水道処理人口普及率は、水道普及率と同程度の 98%に達している。
- 3 上水道には、水道法により水道水質基準が定められており、大腸菌は検出されないこととされている。
- 4 ねずみや衛生害虫の駆除は、感染症の発生予防に重要である。

問3 住居環境に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R3-5)

- 1 太陽光を取り入れて室内を明るくすることを照明という。
- 2 シックハウス症候群の原因となる代表的な化学物質は、アスベスト(石綿)である。
- 3 室内の一酸化炭素濃度が増加すると頭痛やめまいがおこり、死に至る場合がある。
- 4 室内の快適な湿度の目安は、20~30%である。

問 4 環境衛生に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。(R3-11)

- ア 主に日常生活から排出される一般廃棄物の排出量は、減少傾向にある。
- イ 安全な飲料水の確保のため、上水道には、水道法により水道水質基準が定められている。
- ウ 空気の主な組成は、酸素が約 78%、窒素が約 21%である。
- エ 産業廃棄物は、排出事業所のある市町村の責任で処理をしなければならない。

- 1 ア、イ
- 2 イ、ウ
- 3 ウ、エ
- 4 ア、エ

問 5 公衆衛生に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R2-4)

- 1 公衆衛生活動は一般に、一次予防(早期発見)、二次予防(健康増進)、三次予防(機能回復)の三段階に分け、行われている。
- 2 日本国憲法において、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。
- 3 労働衛生行政を担う国の機関は、環境省である。
- 4 保健所の設置主体は、市町村である。

問 6 室内環境に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H31-10)

- 1 酸素は、空気中の約 78%を占めている。
- 2 湿度は、カビの発生には影響しない。
- 3 人工光源により、室内を明るくすることを採光という。
- 4 ホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因となる化学物質の一つである。

問 7 紫外線に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H31-12)

- 1 熱を生じて温かく感じる。
- 2 ビタミンD生成作用がある。
- 3 殺菌作用がある。
- 4 日焼けの原因となる。

問 8 環境衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H29-6)

- 1 「シックハウス症候群」の原因となる代表的な化学物質として、有機スズがある。
- 2 水道法により水道水の水質基準が定められており、大腸菌は検出されないこととされている。
- 3 食品リサイクル法に基づき、食品に関しても、食品廃棄物の発生抑制などが推進されている。
- 4 ねずみや衛生害虫(ハエ、ゴキブリなど)は感染症を媒介するので、予防上、これらの駆除は重要である。

問 9 次の空気の組成に関する記述で、()に入る語句の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H28-7)

空気の主な組成は、酸素(A)、窒素(B)である。

	A	B
1	約 78%	約 21%
2	約 59%	約 40%
3	約 21%	約 78%
4	約 40%	約 59%

問 10 紫外線に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H27-7)

- 1 日焼けの原因となる。
- 2 雪面からの反射で雪眼炎の原因となる。
- 3 ビタミンDの生成作用がある。
- 4 日射病の原因となる。

問 11 環境衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H26-6)

- 1 空気は、約 21%の酸素を含む。
- 2 微小粒子状物質(PM2.5)とは、大気中に浮遊している 2.5 μ m 以下の小さな粒子のことである。
- 3 水道法の規制により、水道水からは大腸菌は検出されてはならない。
- 4 水道法の規制により、各戸の水道の蛇口から出る水には、0.1mg/L以上の遊離残留塩素を含んではならない。

問 12 次のうち、空気の組成に関する記述で、()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。(H25-9)

空気の組成は、(A)約 78%、(B)約 21%、炭酸ガス約 0.03%である。

- | | A | B |
|---|----|-------|
| 1 | 窒素 | 酸素 |
| 2 | 窒素 | 一酸化炭素 |
| 3 | 水素 | 酸素 |
| 4 | 水素 | 一酸化炭素 |

問 13 次のうち、冬の衣服の素材及び形に関する記述として、誤っているものはどれか。
(H25-10)

- 1 素材は熱が逃げにくいもの
- 2 衣服の形は開放性のもの
- 3 素材は保温効果が高いもの
- 4 素材は熱を吸収しやすいもの

問 14 次のうち、介護保険制度について正しいものはどれか。(H25-11)

- 1 給付を受けるためには、市町村の窓口で認定申請をする。
- 2 被保険者は、第1～3号被保険者からなる。
- 3 都道府県に設置される介護認定審査会において、要介護認定の審査・判定が行われる。
- 4 要介護度の区分は、要介護6が最も重い。

正答・解説【過去問】

問1 正答4

- 1 空気の主な組成は、酸素が約21%、窒素が約78%である。
- 2 水道法に基づく水道水の水質基準において、検出されないことと規定されているのは大腸菌のみ。
- 3 ペストはノミ・ネズミが媒介動物。

問2 正答2

- 2 令和元年度末の日本の下水道処理人口普及率は80.6%、水道普及率は98%。

問3 正答3

- 1 太陽光を取り入れて室内を明るくすることを採光という。
- 2 シックハウス症候群の原因となる代表的な化学物質は、ホルムアルデヒドである。
- 4 室内の快適な湿度の目安は、40～60%である。

問4 正答1

- ウ 空気の主な組成は、窒素が約78%、酸素が約21%である。
- エ 産業廃棄物は、排出事業者の責任で処理をしなければならない。産廃許可は都道府県知事や政令市市長が行う。

問5 正答2

- 1 公衆衛生活動は一般に、一次予防(健康増進)、二次予防(早期発見)、三次予防(機能回復)の三段階に分け、行われている。
- 3 労働衛生行政を担う国の機関は、厚生労働省である。
- 4 保健所の設置主体は、都道府県である。

問6 正答4

- 1 窒素は、空気中の約78%を占めている。酸素は21%。
- 2 湿度は、カビの発生に大きく影響する。
- 3 人工光源により、室内を明るくすることを照明という。

問7 正答1

熱を生じて温かく感じるのは赤外線。

問 8 正答 1

1 「シックハウス症候群」の原因となる代表的な化学物質として、ホルムアルデヒドがある。

問 9 正答 3

窒素は、空気中の約 78%を占めている。酸素は 21%。

問 10 正答 4

4 日射病の原因は炎天下でのスポーツや激しい労働。発汗により体内の水分が不足した脱水状態。

問 11 正答 4

4 水道法の規制により、各戸の水道の蛇口から出る水には、0.1mg/L以上の遊離残留塩素を含まなくてはならない。

問 12 正答 1

1 窒素は、空気中の約 78%を占めている。酸素は 21%。

問 13 正答 2

2 衣服の形が開放性だと、暖められた空気が逃げ保温効果が低くなる。

問 14 正答 1

2 被保険者は、第1、2号被保険者からなる。

3 市町村に設置される介護認定審査会において、要介護認定の審査・判定が行われる。

4 要介護度の区分は、要介護 5 が最も重い。

<衛生統計>



【最重要キーワード】

死亡率は、昭和55年(1980年)から上昇しており、高齢者人口割合の増加によるものである。

人口動態統計は、出生届、死亡届、婚姻届、離婚届、死産届をもとにつくられている

我が国の平均寿命は男女とも80歳を超えており、世界有数の長寿国となっている

主要死因別にみた死亡率(人口10万対)の第1位は悪性新生物(がん)である

合計特殊出生率とは、15歳～49歳の女子の年齢別出生率を合計したものである。

高齢化率とは、全人口に対する65歳以上の老年人口の割合である。

人口動態(令和3年)

	実数	率
出生	81.1万人	6.6
死亡	143.9万人	11.7
合計特殊出生率		1.30

死因順位(令和3年)

1位	悪性新生物(26.5%)
2位	心疾患(14.9%)
3位	老衰(10.6%)

平均寿命(令和3年)

男)81.47歳(前年 81.56)

女)87.57歳(前年 87.71)

※新型コロナウイルス感染症の影響で平均寿命が前年を下回った。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実 数				率 ¹⁾	
	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)	対前年増減		令和3年 (2021)	令和2年 (2020)
			増減数(人)	増減率(%)		
出 生(人)	811 622	840 835	△ 29 213	△ 3.5	6.6	6.8
男	415 903	430 713	△ 14 810	△ 3.4	7.0	7.2
女	395 719	410 122	△ 14 403	△ 3.5	6.3	6.5
死 亡(人)	1 439 856	1 372 755	67 101	4.9	11.7	11.1
男	738 141	706 834	31 307	4.4	12.4	11.8
女	701 715	665 921	35 794	5.4	11.1	10.5
(再掲)						
乳児死亡(人)	1 399	1 512	△ 113	△ 7.5	1.7	1.8
新生児死亡	658	704	△ 46	△ 6.5	0.8	0.8
自然増減(人)	△ 628 234	△ 531 920	△ 96 314	…	△ 5.1	△ 4.3
死 産(胎)	16 277	17 278	△ 1 001	△ 5.8	19.7	20.1
自然死産	8 082	8 188	△ 106	△ 1.3	9.8	9.5
人工死産	8 195	9 090	△ 895	△ 9.8	9.9	10.6
周産期死亡(胎)	2 741	2 664	77	2.9	3.4	3.2
妊娠満22週以後の死産	2 235	2 112	123	5.8	2.7	2.5
早期新生児死亡	506	552	△ 46	△ 8.3	0.6	0.7
婚 姻(組)	501 138	525 507	△ 24 369	△ 4.6	4.1	4.3
離 婚(組)	184 384	193 253	△ 8 869	△ 4.6	1.50	1.57

	令和3年 (2021)	令和2年 (2020)
合計特殊出生率	1.30	1.33
年齢調整死亡率 ¹⁾²⁾ 男	13.6	13.3
女	7.4	7.2

注：1) 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚・年齢調整死亡率は人口千対、乳児死亡・新生児死亡・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対の率である。

2) 年齢調整死亡率は、平成27年モデル人口で算出している。

令和3年人口動態統計(確定数)の概況:厚生労働省

覚えよう！【出た順まとめ】

(平均寿命)

- ★★★★★平均寿命とは、0歳の平均余命のことである。(R4)(H31)(H30)(H28)(H26)(H25)
- ★我が国の平均寿命は男女とも80歳を超えており、世界有数の長寿国となっている。(R3)

(人口動態・静態)

- ★★★★人口動態統計は、出生届、死亡届、婚姻届、離婚届、死産届をもとにつくられている。(R4)(H31)(H30)(H26)
- ★★★人口静態統計は、5年ごとの国勢調査により集計される。(R5)(R3)(H27)
- ★★人口動態統計は、一定期間の人口。(R2)(H27)

(死因・死亡率)

- ★★★死亡率は、昭和55年(1980年)から上昇しており、高齢者人口割合の増加によるものである。(R4)(R2)(H31)
- ★★★令和3年(2021)の主要死因別にみた死亡率は、悪性新生物(26.5%)、心疾患(14.9%)、老衰(10.6%)、脳血管疾患(7.3%)。(R3)(H28)(H25)
- ★★生後1年未満の死亡を乳児死亡という。(R5)(H31)
- ★死亡率とは、人口10万人に対する年間の死亡数である。(H27)

(有訴者率)

- ★★★有訴者率は、国民生活基礎調査により把握される。(H30)(H28)(H26)
- ★疾病統計の有訴者率とは、病気やけがなど自覚症状がある者の割合。(R2)
- ★疾病統計の受療率は、患者調査から求められる。(R5)

(出生率)

- ★★合計特殊出生率とは、15歳～49歳の女子の年齢別出生率を合計したものである。(R5)(H28)
- ★★出生率は、ここ数年は1,000人あたり7人程度となっている。(R4)(H25)
- ★★出生率とは、人口1,000人に対する年間の出生数である。(R3)(H27)
- ★★我が国の出生率は、第二次世界大戦後から現在まで減少傾向にある。(H30)(H26)

(高齢化)

★★老年人口とは、65歳以上の人口である。(H28)(H25)

★高齢化率とは、全人口に対する65歳以上の老年人口の割合である。(R5)

★我が国の高齢化は今後も進むとされ、2025年には高齢化率が30.0%に至ると推計されている。(2022年現在29.1%)(R2)

解いてみよう！【過去問】

問1 日本の衛生統計に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R5-8)

- 1 人口静態統計は、5年ごとの国勢調査により集計される。
- 2 生後1年未満の死亡を、乳児死亡という。
- 3 高齢化率とは、全人口に対する60歳以上の老年人口の割合である。
- 4 疾病統計の受療率は、患者調査から求められる。

問2 合計特殊出生率に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組合せを一つ選べ。(R5-12)

合計特殊出生率とは(A)歳～49歳の女性の(B)出生率を合計したものである。

- | | A | B |
|---|----|-----|
| 1 | 18 | 地域別 |
| 2 | 15 | 年齢別 |
| 3 | 18 | 年齢別 |
| 4 | 15 | 地域別 |

問3 日本の衛生統計に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。(R4-8)

- ア 死亡率は、昭和58年頃から低下傾向にある。
- イ 出生率は、ここ数年は1,000人あたり7人程度となっている。
- ウ 平均寿命とは、0歳の平均余命のことである。
- エ 人口静態統計は、出生届、死亡届、婚姻届、離婚届、死産届をもとにつくられている。

- 1 ア、イ
- 2 ア、エ
- 3 イ、ウ
- 4 ウ、エ

問 4 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R3-4)

- 1 人口動態統計は、5年ごとの国勢調査により集計される。
- 2 出生率とは、人口10,000人に対する年間の出生数である。
- 3 主要死因別にみた死亡率は、心疾患(高血圧症を除く)が最も高い。
- 4 我が国の平均寿命は男女とも80歳を超えており、世界有数の長寿国となっている。

問 5 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R2-6)

- 1 我が国の死亡率が上昇傾向にあるのは、高齢者人口割合の増加によるものである。
- 2 我が国の高齢化は今後も進むとされ、2025年には高齢化率が20.0%に至ると推計されている。
- 3 人口動態統計は、特定の一時点における人口集団の特性を把握する統計である。
- 4 疾病統計の有訴者率とは、世帯員のうち、医療施設に通院している者の割合を表す。

問 6 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H31-5)

- 1 生後4週未満の死亡を乳児死亡という。
- 2 現在の我が国の死亡率は、上昇傾向を示している。
- 3 人口静態統計は、出生届、死亡届及び婚姻届により集計される。
- 4 平均寿命とは、各年齢の生存者が平均してあと何年生きられるかを示したものである。

問 7 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H30-7)

- 1 0歳の平均余命は、健康寿命と呼ばれる。
- 2 我が国の出生率は、第二次世界大戦後から現在まで微増傾向にある。
- 3 人口動態統計は、出生、死亡、死産、婚姻、離婚の届出をもとにつくられる。
- 4 有訴者率は、感染症発生動向調査により把握される。

問 8 次の文章の()に入る語句の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H28-5)

合計特殊出生率とは、(A)歳～49 歳の女子の(B)出生率を合計したものである。

	A	B
1	18	性別
2	15	年齢別
3	15	性別
4	18	年齢別

問 9 わが国の衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H28-6)

- 1 老年人口とは、60 歳以上の人口である。
- 2 平均寿命とは、心身とも健康で活動できる年齢期間である。
- 3 平成 26 年の主要死因別にみた死亡率(人口 10 万対)の第1位は悪性新生物(がん)である。
- 4 有訴者率(病気やけが等で自覚症状がある者の割合)や通院者率は、国勢調査により算出されている。

問 10 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H27-6)

- 1 出生率とは、人口 10,000 人に対する年間の出生数である。
- 2 人口静態統計は、5年ごとの国勢調査により集計される。
- 3 死亡率とは、人口 100 人に対する年間の死亡数である。
- 4 人口動態統計とは、特定の日時における統計である。

問 11 衛生統計に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H26-5)

- 1 0歳の平均余命は、健康寿命と呼ばれる。
- 2 我が国の出生率は、第二次世界大戦後から微増傾向にある。
- 3 人口動態統計は、出生届、死亡届、死産届、婚姻届、離婚届をもとにつくられる。
- 4 有訴者率は、感染症発生動向調査により把握される。

問 12 次のうち、わが国の衛生統計に関する記述として、正しいものはどれか。(H25-6)

- 1 老年人口とは、55 歳以上の人口である。
- 2 平成 22 年の主要死因別にみた死亡率(人口 10 万対)の第1位は悪性新生物(がん)である。
- 3 平均寿命は、心身とも健康で活動できる年齢期間である。
- 4 平成 22 年の合計特殊出生率は、8.5 である。

正答・解説【過去問】

問1 正答3

3 高齢化率とは、全人口に対する65歳以上の老年人口の割合である。

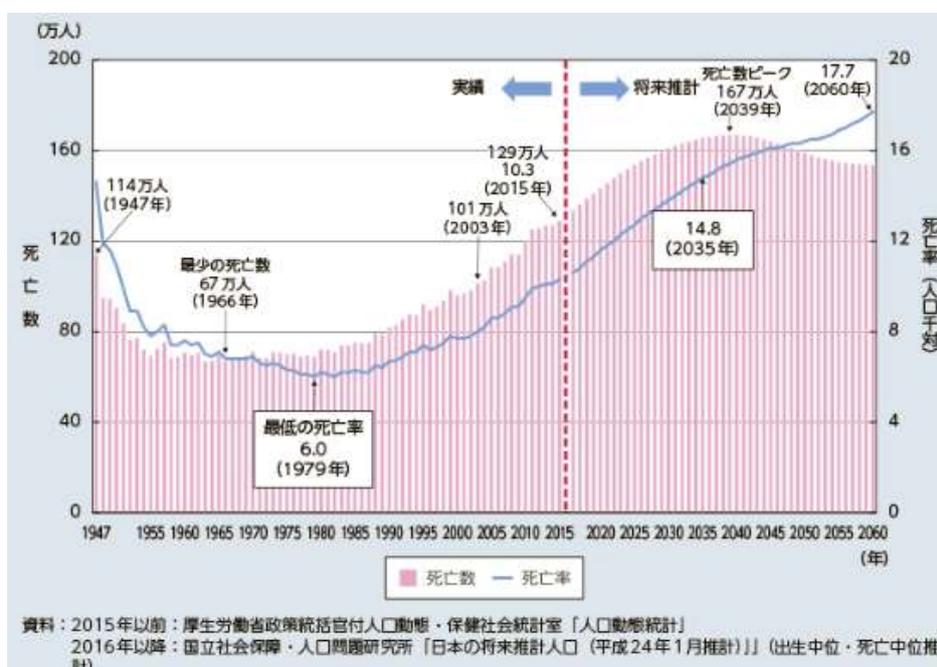
問2 正答2

合計特殊出生率とは15歳～49歳の女性の年齢別出生率を合計したものである。

問3 正答3

ア 死亡率は、昭和55年(1980年)から上昇している。

エ 人口動態統計は、出生届、死亡届、婚姻届、離婚届、死産届をもとにつくられている。



問4 正答4

1 人口静態統計は、5年ごとの国勢調査により集計される。

2 出生率とは、人口1,000人に対する年間の出生数である。

3 令和3年(2021)の主要死因別にみた死亡率は、悪性新生物(26.5%)、心疾患(14.9%)、老衰(10.6%)、脳血管疾患(7.3%)。

問 5 正答 1

- 2 我が国の高齢化は今後も進むとされ、2025 年には高齢化率が 30.0%に至ると推計されている。(2022 年現在 29.1%)
- 3 人口動態統計は、一定期間の人口。一時点の人口は人工静態。
- 4 疾病統計の有訴者率とは、病気やけがなど自覚症状がある者の割合。医療施設に通院している者の割合は通院者率。

問 6 正答 2

- 1 生後1年未満の死亡を乳児死亡という。
- 3 人口動態統計は、出生届、死亡届、死産届、婚姻届、離婚届により集計される。
- 4 平均寿命とは、0歳の平均余命。各年齢の生存者が平均してあと何年生きられるかを示したのは平均余命。

問 7 正答 3

- 1 0歳の平均余命は、平均寿命。健康寿命は健康で生活できる期間。
- 2 我が国の出生率は、第二次世界大戦後から現在まで減少傾向にある。
- 4 有訴者率は、国民生活基礎調査により把握される。

問 8 正答 2

合計特殊出生率とは、15 歳～49 歳の女子の年齢別出生率を合計したものである。

問 9 正答 3

- 1 老年人口とは、65 歳以上の人口である。
- 2 平均寿命とは、0歳の平均余命。心身とも健康で活動できる年齢期間は健康寿命。
- 4 有訴者率(病気やけが等で自覚症状がある者の割合)や通院者率は、国民生活基礎調査により算出されている。

問 10 正答 2

- 1 出生率とは、人口 1,000 人に対する年間の出生数である。
- 3 死亡率とは、人口 10 万人に対する年間の死亡数である。
- 4 人口動態統計とは、一定の期間の人口統計。特定の日時における統計は人工静態。

問 11 正答 3

- 1 0歳の平均余命は、平均寿命。
- 2 我が国の出生率は、第二次世界大戦後から減少している。
- 4 有訴者率は、国民生活基礎調査により把握される。

問 12 正答 2

- 1 老年人口とは、65 歳以上の人口である。
- 3 平均寿命とは、0 歳の平均余命。心身とも健康で活動できる年齢期間は健康寿命。
- 4 平成 22 年の合計特殊出生率は、1.39 である。8.5 は出生率。

<感染症>



【最重要キーワード】

エイズの病原体はウイルス

患者や感染動物等に直接接触することによる感染を、接触感染という

結核の患者数は戦後減少しているが、依然多く、我が国の主要な感染症である

空気感染とは、病原体を含む飛沫の水分が蒸発した飛沫核が空気中に漂い、体内に入ることによって感染することをいう

感染症の感受性対策は、宿主の病原体に対する免疫力を強める

感染症の類型上、腸管出血性大腸菌感染症は、就業制限や消毒措置を行う3類感染症に分類される

麻疹は5類に分類される

感染症は、感染源、感染経路及び感受性の3つの条件がそろったときに発生する

予防接種により、病原体に対する抵抗力の向上を図る

感染症法

			入院措置	就業制限	消毒
1類	エボラ出血熱、 <u>ペスト</u> 、天然痘	危険性が極めて高く 交通遮断が可能。	○	○	○
2類	<u>重症急性呼吸器症候群(SARS)</u> 、 <u>鳥インフルエンザ</u> 、 <u>結核</u> 、ジフテリア	危険性が高い	○	○	○
3類	<u>コレラ</u> 、 <u>細菌性赤痢</u> 、 <u>腸管出血性大腸菌感染症</u> 、腸チフス	集団発生を起こしう る		○	○
4類	E型肝炎、オウム病、狂犬病、デング熱、 日本脳炎、マラリアなど	健康に影響を与える			○
5類	インフルエンザ、梅毒、 <u>はしか(麻疹)</u> 新型コロナウイルス感染症(R5.5～)	発生動向を公開			

感染経路

経口感染	手指・食品・器具を介して伝染	<u>赤痢</u> 、 <u>コレラ</u>
飛沫感染	飛沫やじんあいを吸い込むことによる感染	<u>インフルエンザ</u> 、 <u>結核</u> 、風 疹、おたふくかぜ
接触感染	感染源(動物・昆虫・寄生虫・病原体)に直 接触れることによって感染	<u>破傷風</u>
空気感染	飛沫核を吸い込むことによる感染	<u>結核</u> 、はしか、水ぼうそう

感染症成立要因と対策

感染源	感染源の排除:消毒、輸入検疫
感染経路	感染経路の遮断:マスク・手洗い、手袋、害虫駆除
感受性	宿主の免疫力向上:ワクチン接種、健康増進(栄養・睡眠)

覚えよう！【出た順まとめ】

(保菌者)

★★★★★★無症状病原体保有者とは、発症はしていないが病原体を保有している者をいい
感染源となる。(R4)(R3)(R2)(H31)(H30)(H29)(H26)

(感染の種類)

★空気感染とは、病原体を含む飛沫の水分が蒸発した飛沫核が空気中に漂い、体内に入ることによって感染することをいう。(R3)(H26)

★患者や感染動物等に直接接触することによる感染を、接触感染という。(R4)

★患者や保菌者の糞便中に排出された病原体が、手指などを介して食品を汚染し、それを食べた人の体内に侵入する感染方法を経口感染という。(H30)

★輸入感染症とは、病原体が国内には常在せず、旅行者などが海外で感染し、国内に持ち込まれる感染症である。(H31)

(感染症予防)

★★★★感染症の感受性対策は、宿主の病原体に対する免疫力を強めることで、予防(ワクチン)接種や、食事の内容や運動などの健康増進を行うことが重要である。(R4)(R2)(H31)(H29)

★★★★感染源と感染経路と宿主の3つがそろって、感染症は発生する。(R5)(R2)(H29)(H26)

★★感染症の予防は、感染源対策、感染経路対策および感受性対策の3つがある。(R3)(H30)

★★検疫は、国内に常在しない病原体の感染源対策である。(R2)(H29)

★★手洗いは、感染経路対策の基本である。(R2)(H29)

★★感染経路対策として害虫駆除は、昆虫が媒介する感染症に有効である。(R2)(H29)

★国際空港などでは、輸入感染症の国内侵入を防ぐため、検疫が行われている。(R5)

★細菌性赤痢による感染者は、食品に直接接触する業務に従事することが禁止されている。(R5)

★感染経路対策として飲用に使用する井戸水は、水質を確かめて使用する。(R2)

(感染症の分類等)

- ★★★★★腸管出血性大腸菌感染症は3類感染症に分類される。(R4)(H30)(H29)(H28)(H26)
- ★★コレラは、3類感染症(R5)(H28)
- ★★細菌性赤痢は、3類感染症に分類されている。(H31)(H26)
- ★エイズの病原体はウイルスである。(R4)
- ★感染症は、感染症法により1～5類感染症、指定感染症、新感染症および新型インフルエンザ等感染症に分類されている。(R3)
- ★結核の患者数は戦後減少しているが、依然多く、我が国の主要な感染症である。(R2)
- ★重症急性呼吸器症候群(SARS)は2種。(R4)
- ★ペストは1類。(R4)
- ★麻疹は5類。(R4)
- ★エボラ出血熱は、1類感染症(H28)
- ★鳥インフルエンザ(H5N1)は、2類感染症(H28)

解いてみよう！【過去問】

問1 感染症に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R5-7)

- 1 感染症は、感染源、感染経路及び感受性のある宿主の3つの条件がそろったときに発生する。
- 2 細菌性赤痢による感染者は、食品に直接接触する業務に従事することが禁止されている。
- 3 国際空港などでは、輸入感染症の国内侵入を防ぐため、検疫が行われている。
- 4 コレラは、2類感染症に分類されている。

問2 感染症に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。(R4-6)

- ア エイズの病原体は細菌である。
- イ 患者や感染動物等に直接接触することによる感染を、飛沫感染という。
- ウ 無症状病原体保有者とは、発症はしていないが病原体を保有している者をいう。
- エ 感染症の感受性対策として、予防接種が行われる。

- 1 ア、イ
- 2 ア、エ
- 3 イ、ウ
- 4 ウ、エ

問3 感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)における感染症の類型と感染症名の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(R4-5)

- 1 1類感染症 重症急性呼吸器症候群(SARS)
- 2 2類感染症 ペスト
- 3 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症
- 4 4類感染症 麻しん

問 4 感染症に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R3-9)

- 1 空気感染とは、せきやくしゃみなどにより、病原体を含む飛沫が直接他の人の口や鼻の粘膜に接触し、体内に入ることによって感染することをいう。
- 2 感染症の予防は、感染源対策、感染経路対策および感受性対策の3つがある。
- 3 感染症は、感染症法により1～5類感染症、指定感染症、新感染症および新型インフルエンザ等感染症に分類されている。
- 4 病気の症状を示さない人でも、体内に病原体を持っていることがある。

問 5 感染症に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R2-7)

- 1 結核の患者数は戦後減少しているが、依然多く、我が国の主要な感染症である。
- 2 健康保菌者は体内に病原体を持っているが、症状はなく感染源とはならない。
- 3 検疫は、国内に常在する病原体の感染源対策である。
- 4 感染源と感染経路の2つがそろえば、感染症は発生する。

問 6 感染症の感染経路対策に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R2-9)

- 1 手洗いは、感染経路対策の基本である。
- 2 害虫駆除は、昆虫が媒介する感染症に有効である。
- 3 飲用に使用する井戸水は、水質を確かめて使用する。
- 4 予防接種により、疾病に対する抵抗力の向上を図る。

問 7 感染症に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H31-6)

- 1 細菌性赤痢は、3類感染症に分類されている。
- 2 感染症の感受性対策は、食事の内容や運動とは関係なく、予防接種を受けることが重要である。
- 3 輸入感染症とは、病原体が国内には常在せず、旅行者などが海外で感染し、国内に持ち込まれる感染症である。
- 4 健康保菌者は、病気の症状は示さないが、体内に病原体を持っているため、感染源となる。

問 8 感染症に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H30-9)

- 1 患者や保菌者の糞便中に排出された病原体が、手指などを介して食品を汚染し、それを食べた人の体内に侵入する感染方法を経口感染という。
- 2 病気の症状を示さない人でも、体内に病原体を持っていることがある。
- 3 感染症予防の原則は、感染源、感染経路、感受性の側面から対策を行う。
- 4 感染症の類型上、腸管出血性大腸菌感染症は、その重篤性から1類感染症に分類される。

問 9 感染症に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H29-8)

- 1 感染症は、感染源、感染経路及び感受性の3つの条件がそろったときに発生する。
- 2 感染症にかかっている人から、症状がない人からは、感染が広がる可能性はない。
- 3 腸管出血性大腸菌は、感染症の原因菌ではない。
- 4 感染症の病原体は多種多様なので、予防接種は特に必要ない。

問 10 感染症の感染経路対策に含まれないものを一つ選べ。(H29-10)

- 1 手洗い、うがい
- 2 害虫の駆除
- 3 輸入検疫
- 4 清掃、消毒

問 11 感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)に基づき感染症が分類されているが、感染症と類型の組合せについて、誤っているものを一つ選べ。(H28-10)

- | | |
|------------------|-------|
| 1 腸管出血性大腸菌感染症 | 2類感染症 |
| 2 エボラ出血熱 | 1類感染症 |
| 3 鳥インフルエンザ(H5N1) | 2類感染症 |
| 4 コレラ | 3類感染症 |

問 12 感染症に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H26-8)

- 1 空気中から病原体が体に入ることがある。
- 2 健康な人でも病原体を持っていることがある。
- 3 感染症の類型上、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢は、その重篤性から一類感染症に分類される。
- 4 病原体、感染経路、感受性宿主の三者を、感染症成立のための三大要因という。

正答・解説【過去問】

問1 正答4

4 コレラは、3類感染症に分類されている。

問2 正答4

ア エイズの病原体はウイルスである。

イ 患者や感染動物等に直接接触することによる感染を、接触感染という。

問3 正答3

1 重症急性呼吸器症候群(SARS)は2種。

2 ペストは1類。

4 麻疹は5類。

問4 正答1

1 飛沫感染とは、せきやくしゃみなどにより、病原体を含む飛沫が直接他の人の口や鼻の粘膜に接触し、体内に入ることによって感染することをいう。

飛沫とは、病原体が含まれた水粒子のこと。感染者の咳やくしゃみと共に細菌やウイルスが体外に排出される。この飛沫は半径 2mの範囲には飛び散るが、水分を含んでいるので重たく時間が経つと床や机に落ちる。

ところが、飛沫の水分が蒸発したあと、空気中を漂う病原体がある(飛沫の水分が蒸発した状態を飛沫核という)。はしか(麻疹ウイルス)や水ぼうそう(水痘ウイルス)、結核(結核菌)などは、空気中を漂うので感染者から遠い場所においても感染するリスクがある。これを空気感染(飛沫核感染)という。

問5 正答1

2 健康保菌者は体内に病原体を持っており、症状はなくても感染源となる。

3 検疫は、国内に常在しない病原体の感染源対策である。

4 感染源と感染経路と宿主の3つがそろえば、感染症は発生する。

問6 正答4

4 予防接種により、病原体に対する抵抗力の向上を図る。

問7 正答2

2 感染症の感受性対策は、宿主の病原体に対する免疫力を強めることで、予防(ワクチン)接種や、食事の内容や運動などの健康増進を行うことが重要である。

問 8 正答 4

4 感染症の類型上、腸管出血性大腸菌感染症は、就業制限や消毒措置を行う3類感染症に分類される。1類は入院や消毒の他に交通制限が可能で、エボラ出血熱、天然痘、ペストなどがある。

問 9 正答 1

- 2 感染症にかかっても症状がない人から、感染が広がる可能性がある。
- 3 腸管出血性大腸菌は、感染症の原因菌である。
- 4 感染症の病原体は多種多様だが、予防接種が有効である。

問 10 正答 3

3 検疫は、病原体を持ち込まない、感染源対策。手洗い、害虫の駆除、消毒は病原体の感染経路を遮断する感染経路対策

問 11 正答 1

1 腸管出血性大腸菌感染症は3類。

問 12 正答 3

3 感染症の類型上、腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢は、その重篤性から3類感染症に分類される。

<生活習慣病>



【最重要キーワード】

メタボリックシンドロームは、腹囲が男性 85cm・女性 90cm以上、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると診断される。

脳血管疾患には脳出血や脳梗塞があり、脳卒中ともいわれる

早期発見・早期治療は、生活習慣病対策の二次予防

1型糖尿病は、自己免疫疾患で生活習慣病でない。

栄養バランスや運動及び規則正しい生活などに気を付けることが糖尿病の予防につながる

悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病で、我が国の死亡率の半数以上を占めている。

生活習慣病には、がん、高血圧、脂質異常症、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などがあげられる。

医療保険者が実施する特定健康診査の対象者は、40 歳以上 75 歳未満の被保険者・被扶養者である。

一次予防	二次予防	三次予防
病気になるようにする	<u>早期発見・早期治療</u> する	悪化防止と社会復帰
健康教育、食生活や環境の整備 体力増進、予防接種	定期検診 治療、合併症の予防	合併症・後遺症の予防、リハビリテーション

覚えよう！【出た順まとめ】

(生活習慣病)

- ★★★早期発見・早期治療は、生活習慣病対策の二次予防。(R5)(R3)(H31)
- ★★★生活習慣病は、食生活、運動、喫煙、飲酒などの生活習慣がその発症・進行に関与する。(H29)(H28)(H25)
- ★★生活習慣病には、がん、高血圧、脂質異常症、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などがあげられる。(H28)(H25)
- ★悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病で、我が国の死亡率の半数以上を占めている。(H29)
- ★医療保険者が実施する特定健康診査の対象者は、40歳以上75歳未満の被保険者・被扶養者である。(H25)

(メタボリックシンドローム)

- ★★★メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪症候群のことである。(R3)(H28)(H25)
- ★★メタボリックシンドロームは、腹囲が男性85cm・女性90cm以上で、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると診断される。(R4)(H31)

(高血圧)

- ★★成人の正常血圧(診察室血圧)は、収縮期血圧120mmHg未満かつ拡張期血圧80mmHg未満である。(R4)(H28)
- ★高血圧症になる主な要因は、塩分やアルコールの過剰摂取、肥満、運動不足などである。(R3)

(がん)

- ★★悪性新生物(がん)の発生の原因として関わりが深いのは、喫煙と食事である。(R3)(H29)
- ★ここ数年の胃がんによる死亡者は、男女ともに減少している。(R5)
- ★ここ数年の部位別がん死亡数は、男性では肺がんが最も多い。(R4)
- ★ヘリコバクター・ピロリは、胃がんなどの原因菌として知られている。(H26)
- ★悪性新生物(がん)は、全身にできる。(H26)

(糖尿病)

- ★**糖尿病は、膵臓のインスリンの作用不足による糖代謝異常疾患である。(R5)(H26)**
- ★**空腹時血糖値が 126mg/dL 以上の場合は、糖尿病型とされる。(R4)**
- ★**1型糖尿病は、自己免疫疾患で生活習慣病でない。(R3)**
- ★**栄養バランスや運動及び規則正しい生活などに気を付けることが糖尿病の予防につながる。(H31)**

(脂質異常症)

- ★**高LDLコレステロール血症とは、LDLコレステロール値が 140mg/dL 以上の場合をいう。(R4)**
- ★**動脈硬化症の危険因子に脂質異常症がある。(R3)**

(脳血管疾患)

- ★**脳血管疾患には脳出血や脳梗塞があり、脳卒中ともいわれる。(R4)**
- ★**脳血管疾患の危険因子に高血圧症がある。(R3)**

(肝疾患)

- ★**アルコールによる肝炎は、肝硬変に移行するものが多い。(R5)**
- ★**肝疾患(肝臓病)の要因として、肝炎を引き起こすウイルスやアルコールの過剰摂取がある。(R4)**

(心疾患)

- ★**心筋梗塞は、冠動脈の硬化によるものが多い。(R4)**
- ★**心疾患の危険因子に高血圧症がある。(R3)**
- ★**心疾患の原因として、食生活の洋風化や運動不足が考えられる。(H29)**
- ★**循環器病の危険因子として、高脂血症、高血圧、喫煙などがあげられる。(H26)**

解いてみよう！【過去問】

問1 生活習慣病に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。(R5-10)

- ア 生活習慣病の一次予防は、病気の早期発見と健康診断の受診である。
- イ アルコールによる肝炎は、肝硬変に移行するものが多い。
- ウ 糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンの不足や働きが悪くなることによる糖代謝異常の疾患である。
- エ ここ数年の胃がんによる死亡者数は、男女ともに増加している。

- 1 ア、ウ
- 2 ア、エ
- 3 イ、ウ
- 4 イ、エ

問2 生活習慣病に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R4-10)

- 1 成人の正常血圧(診察室血圧)は、収縮期血圧 120mmHg 未満かつ拡張期血圧 80mmHg 未満である。
- 2 空腹時血糖値が 126mg/dL 以上の場合は、糖尿病型とされる。
- 3 高LDLコレステロール血症とは、LDLコレステロール値が 140mg/dL 以上の場合をいう。
- 4 メタボリックシンドロームとは、男女ともに腹囲が 85 cm以上の場合をいう。

問3 生活習慣病に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R4-12)

- 1 脳血管疾患には脳出血や脳梗塞があり、脳卒中ともいわれる。
- 2 肝疾患(肝臓病)の要因として、肝炎を引き起こす細菌や塩分の過剰摂取がある。
- 3 ここ数年の部位別がん死亡数は、男性では肝臓がんが最も多い。
- 4 心筋梗塞は、冠静脈の硬化によるものが多い。

問 4 生活習慣病に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R3-10)

- 1 高血圧症になる主な要因は、塩分やアルコールの過剰摂取、肥満、運動不足などである。
- 2 生活習慣病対策の一次予防は、早期発見・早期治療である。
- 3 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪症候群のことである。

問 5 生活習慣病とその危険因子となる疾患の組合せで、誤っているものを一つ選べ。(R2-12)

- 1 1型糖尿病 B型肝炎
- 2 心疾患 高血圧症
- 3 動脈硬化症 脂質異常症
- 4 脳血管疾患 高血圧症

問 6 生活習慣病に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H31-8)

- 1 生活習慣病の一次予防は、早期発見・早期治療である。
- 2 内臓脂肪の蓄積に加え、高血圧または高血糖のいずれか一つに該当する場合をメタボリックシンドロームという。
- 3 栄養バランスや運動及び規則正しい生活などに気を付けることが糖尿病の予防につながる。
- 4 内臓脂肪型肥満とは、腹囲が男性で 90 cm以上、女性で 85 cm以上の者をいう。

問 7 生活習慣病に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H29-7)

- 1 生活習慣病とは、長年の生活習慣に起因して発症する疾患である。
- 2 悪性新生物(がん)、心疾患、糖尿病の三大生活習慣病で、我が国の死亡率の半数以上を占めている。
- 3 悪性新生物(がん)の発生の原因として関わりが深いのは、喫煙と食事である。
- 4 心疾患の原因として、食生活の洋風化や運動不足が考えられる。

問 8 生活習慣病に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H28-11)

- 1 生活習慣病には、がん、結核、糖尿病などがあげられる。
- 2 生活習慣病は、食生活、運動、喫煙、飲酒などの生活習慣がその発症・進行に関与する。
- 3 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪症候群のことである。
- 4 成人において至適血圧は、収縮期血圧 120mmHg 未満かつ拡張期血圧 80mmHg 未満である。

問 9 疾病に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H26-11)

- 1 糖尿病は、膵臓のインスリンの過剰分泌による糖代謝異常疾患である。
- 2 循環器病の危険因子として、高脂血症、高血圧、喫煙などがあげられる。
- 3 ヘリコバクター・ピロリは、肝硬変などの肝臓病の原因菌として知られている。
- 4 悪性新生物(がん)とは、肺、胃、大腸、乳房、肝臓の5つの部位だけにできるがんをいう。

問 10 次のうち、生活習慣病に関する記述として、誤っているものはどれか。(H25-12)

- 1 生活習慣病は、食習慣、運動習慣、喫煙、飲酒等の生活習慣がその発症・進行に関与する。
- 2 生活習慣病には、がん、虚血性心疾患、糖尿病などがあげられる。
- 3 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪症候群のことである。
- 4 医療保険者が実施する特定健康診査の対象者は、30 歳以上 75 歳未満の被保険者・被扶養者である。

正答・解説【過去問】

問1 正答3

ア 病気の早期発見と健康診断の受診は、生活習慣病の二次予防である。

エ ここ数年の胃がんによる死亡者数は、男女ともに減少している。

問2 正答4

4 メタボリックシンドロームは、腹囲が男性 85cm・女性 90cm以上で、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると診断される。

問3 正答1

2 肝疾患(肝臓病)の要因として、肝炎を引き起こすウイルスやアルコールの過剰摂取がある。細菌(ピロリ菌)や塩分の過剰摂取が要因になるのは、胃がん。

3 ここ数年の部位別がん死亡数は、男性では肺がんが最も多い。

4 心筋梗塞は、冠動脈の硬化によるものが多い。

がん罹患数

2019年	1位	2位	3位
男	前立腺	大腸	胃
女	乳房	大腸	肺
総数	大腸	肺	胃

がん死亡数

2021年	1位	2位	3位
男	肺	大腸	胃
女	大腸	肺	膵臓
総数	肺	大腸	胃

問4 正答2

2 早期発見・早期治療は、生活習慣病対策の二次予防。

一次予防	二次予防	三次予防
病気にならないようにする	早期発見・早期治療する	悪化防止と社会復帰
健康教育 食生活や環境の整備 体力増進 予防接種	定期検診 治療、合併症の予防	合併症・後遺症の予防、リハビリテーション

問 5 正答 1

1 1型糖尿病は、自己免疫異常で生じるため、生活習慣病ではない。また、B型肝炎はウイルス感染症。

問 6 正答 3

1 早期発見・早期治療は、生活習慣病対策の二次予防。

2 内臓脂肪の蓄積に加え血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れるとメタボリックシンドロームと診断される。

4 内臓脂肪型肥満とは、腹囲が男性 85cm・女性 90cm以上。

問 7 正答 2

2 悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病で、我が国の死亡率の半数以上を占めている。

問 8 正答 1

1 生活習慣病には、がん、高血圧、脂質異常症、心疾患、脳血管疾患、糖尿病などがあげられる。結核は感染症。

問 9 正答 2

1 糖尿病は、膵臓のインスリンの作用不足による糖代謝異常疾患である。

3 ヘリコバクター・ピロリは、胃がんなどの原因菌として知られている。

4 悪性新生物(がん)は、全身にできる。

問 10 正答 4

4 医療保険者が実施する特定健康診査の対象者は、40 歳以上 75 歳未満の被保険者・被扶養者である。

<労働安全衛生法・労働衛生>



【最重要キーワード】

休憩・休日の基準は労働基準法

労働安全衛生法に基づき、事業者は労働者に一般健康診断を実施しなければならない。

職場の健康づくりには、労働者の心とからだの両面にわたる配慮が必要である。

立位作業で静脈瘤がおこりやすい

労働安全衛生法第1条に規定されている目的は、労働者の安全と健康を確保するとともに、(快適な職場環境の形成)を促進することである。

休憩時間を除き、1日につき8時間、1週間につき40時間を超えてはならない

労働衛生に関する法律は、労働安全衛生法以外に、労働基準法、作業環境測定法、過労死等防止対策推進法、じん肺法などがある。

労働安全衛生法の目的は、労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することである。

事業者は、全労働者に対して疾病異常発見のために一般健康診断を実施しなければならない。有害業務に従事する労働者に対しては、特殊健康診断を実施しなければならない。

覚えよう！【出た順まとめ】

（労働安全衛生法）

- ★★★★有害な業務に従事する者に対しては特殊健康診断を実施する。(R5)(R2)(H28)(H26)
- ★★★★事業者は労働者に一般健康診断を実施しなければならない。(R4)(R3)(R2)(H26)
- ★★★★労働安全衛生法の改正により、職場におけるメンタルヘルス対策としてストレスチェックが義務化された。(R3)(R2)(H28)(H26)
- ★★労働安全衛生法第1条に規定されている目的は、労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することである。(H30)(H27)
- ★作業環境管理の規定は労働安全衛生法(R4)
- ★安全衛生教育の規定は労働安全衛生法(R4)

（職業病）

- ★★★★職業に特有な作業環境や作業方法によって引き起こされる疾患を職業病という。(R5)(R2)(H28)(H26)
- ★寒冷作業では、凍傷が起こりやすい(H31)
- ★過重な筋肉労働で脊椎・関節障害が起こりやすい(H31)
- ★高温作業で熱中症が起こりやすい(H31)
- ★立位作業で静脈瘤が起こりやすい。(H31)

（労働基準法）

- ★★労働時間は原則として休憩時間を除き1週間につき40時間を超えてはならない。(R2)(H29)
- ★休憩・休日の基準は労働基準法。(R4)
- ★労働時間は原則として休憩時間を除き1日につき8時間を超えてはならない。(H29)

（労働衛生など）

- ★★★労働衛生に関する法律は、労働安全衛生法以外に、労働基準法、作業環境測定法、過労死等防止対策推進法、じん肺法などがある。(R3)(H28)(H26)
- ★★労働衛生管理として、作業環境管理、作業管理、健康管理の3つがある。(R5)(R3)
- ★労働災害の補償を規定するのは、労働者災害補償保険法。(R5)

解いてみよう！【過去問】

問1 労働衛生に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R5-11)

- 1 事業者は、有害な業務に従事する者に対して特殊健康診断を実施しなければならない。
- 2 労働安全衛生法は、災害の補償について規定している。
- 3 労働衛生管理として、「作業環境管理」、「健康管理」、「労働災害管理」がある。
- 4 様々な要因で発症するが、作業条件や環境の状態によって発症率が高くなったり、悪化したりする疾患を職業病という。

問2 労働安全衛生法で規定している事項として、誤っているものを一つ選べ。(R4-7)

- 1 休憩・休日の基準
- 2 作業環境管理
- 3 健康診断
- 4 安全衛生教育

問3 労働衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R3-7)

- 1 労働衛生に関する法律には、労働基準法と労働安全衛生法がある。
- 2 労働基準法に基づき、事業者は労働者に一般健康診断を実施しなければならない。
- 3 労働安全衛生法の改正により、職場におけるメンタルヘルス対策としてストレスチェックが義務化された。
- 4 労働衛生管理として、作業環境管理、作業管理、健康管理の3つがある。

問4 労働衛生に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(R2-11)

- 1 職業に特有な作業環境や作業方法によって引き起こされる疾患を労働災害という。
- 2 職場の健康づくりには、労働者の心とからだの両面にわたる配慮が必要である。
- 3 労働安全衛生法に基づき、一般(定期)健康診断は、有害な業務に従事する者に対して実施する。
- 4 労働基準法に規定される労働時間は、原則として、1週間に45時間である。

問 5 職業病の原因と病名の組合せとして、誤っているものを一つ選べ。(H31-11)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 寒冷作業 | 凍傷 |
| 2 過重な筋肉労働 | 脊椎・関節障害 |
| 3 高温作業 | 熱中症 |
| 4 立位作業 | VDT障害 |

問 6 次の文章の()に入る語句について、正しいものを一つ選べ。(H30-12)

労働安全衛生法第1条に規定されている目的は、労働者の安全と健康を確保するとともに、()を促進することである。

- 1 労働条件の改善
- 2 休暇取得
- 3 良好な人間関係の形成
- 4 快適な職場環境の形成

問 7 労働基準法に規定されている労働時間として、正しいものを一つ選べ。(H29-12)

- 1 原則として、休憩時間を含め、1日につき8時間を超えてはならない。
- 2 原則として、休憩時間を含め、1日につき7時間を超えてはならない。
- 3 原則として、休憩時間を除き、1週間につき30時間を超えてはならない。
- 4 原則として、休憩時間を除き、1週間につき40時間を超えてはならない。

問 8 労働衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H28-12)

- 1 事業者は、労働安全衛生法に基づき有害業務に従事する労働者に対して特殊健康診断を実施しなければならない。
- 2 作業環境により、熱中症、職業性難聴、白ろう病などの職業病を引き起こすことがある。
- 3 職場の健康づくりにおいては、労働者のメンタルヘルスも重要視されている。
- 4 労働安全衛生法のみが、労働衛生に関する法律である。

問 9 次の文章の()に入る語句の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H27-12)

労働安全衛生法の目的は、労働者の(A)を確保するとともに、(B)を促進することである。

	A	B
1	健康な生活習慣	快適な職場環境の形成
2	安全と健康	快適な職場環境の形成
3	安全と健康	労働衛生の改善
4	健康な生活習慣	労働衛生の改善

問 10 労働衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H26-12)

- 1 労働基準法、労働安全衛生法は、労働衛生に関する法律である。
- 2 事業者は、全労働者に対して疾病異常発見のために特殊健康診断を実施しなければならない。
- 3 作業環境により、熱中症、難聴、白ろう病などを引き起こすことがある。
- 4 職場の健康づくりにおいては、労働者のメンタルヘルスも重要視されている。

正答・解説【過去問】

問1 正答1

- 2 災害の補償について規定しているのは、労働者災害補償保険法。
- 3 労働衛生管理として、「作業環境管理」、「健康管理」、「作業管理」がある。
- 4 職業に特有な作業環境や作業方法によって引き起こされる疾患を職業病という。

問2 正答1

- 1 休憩・休日の基準は労働基準法。

問3 正答2

- 2 労働安全衛生法に基づき、事業者は労働者に一般健康診断を実施しなければならない。

問4 正答2

- 1 職業に特有な作業環境や作業方法によって引き起こされる疾患を職業病という。
- 3 労働安全衛生法に基づき、一般(定期)健康診断は、労働者に実施し、有害な業務に従事する者に対しては特殊健康診断を実施する。
- 4 労働基準法に規定される労働時間は、原則として、1週間に40時間である。

問5 正答4

- 4 立位作業では静脈瘤がおこりやすい。VDT 障害はパソコンなどディスプレイを長時間使った作業で起こり、視力低下、ドライアイ、肩こり、腰痛、テクノストレスなどが起こりやすい。

問6 正答4

- 4 労働安全衛生法第1条に規定されている目的は、労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することである。

問7 正答4

- 1、2 休憩時間を除き、1日につき8時間を超えてはならない。
- 3 休憩時間を除き、1週間につき40時間を超えてはならない。

問8 正答4

- 4 労働衛生に関する法律は、労働安全衛生法以外に、労働基準法、作業環境測定法、過労死等防止対策推進法、じん肺法などがある。

問9 正答2

2 労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することである。

問10 正答2

2 事業者は、全労働者に対して疾病異常発見のために一般健康診断を実施しなければならない。有害業務に従事する労働者に対しては、特殊健康診断を実施しなければならない。

<WHO・日本国憲法>



【最重要キーワード】

健康とは、単に病気や病弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態である。(WHO 憲章)

WHOが示した「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」をヘルスプロモーションという。

すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。(日本国憲法第 25 条)

覚えよう！【出た順まとめ】

(健康の定義)

★★★★★健康とは、単に病気や病弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態である。(R5)(R3)(H30)(H27)(H25)

(日本国憲法第 25 条)

★★★すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。(R5)(H31)(H26)

(ヘルスプロモーション)

★★WHOが示した「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」をヘルスプロモーションという。(H30)(H29)

解いてみよう！【過去問】

問1 公衆衛生に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R5-4)

- 1 WHO(世界保健機関)の定義では、健康とは、肉体的・医学的・社会的に完全に良好な状態である。
- 2 日本国憲法では、国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。
- 3 WHO(世界保健機関)の定義では、健康とは、単に疾病や虚弱でないという状態ではない。
- 4 日本国憲法では、すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

問2 健康に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組合せを一つ選べ。(R3-12)

WHO(世界保健機関)憲章では、健康について「健康とは、(A)、(B)そして(C)に完全に良好な状態であり、単に疾病や虚弱ではないという状態ではない。」と定義している。

	A	B	C
1	肉体的	経済的	社会的
2	経済的	精神的	文化的
3	肉体的	精神的	社会的
4	経済的	医学的	文化的

問 3 次の文章の()に入る語句の組合せとして、正しいものを一つ選べ。(H31-4)

日本国憲法第 25 条には、「すべて国民は、(A)な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び(B)の向上及び増進に努めなければならない。」と国の責務が明記されている。

	A	B
1	健康で文化的	公共の福祉
2	平和で民主的	公衆衛生
3	健康で文化的	公衆衛生
4	平和で民主的	公共の福祉

問 4 次の文章の()に入る語句の組合せとして、正しいものを一つ選べ。(H30-4)

WHO(世界保健機関)憲章では、健康の定義を「単に疾病や虚弱でないということではなく、肉体的、()及び()に完全に良好な状態である。」としている。

1	文化的	社会的
2	文化的	経済的
3	精神的	社会的
4	精神的	経済的

問 5 1986 年にWHO(世界保健機関)が「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と提唱した健康観について、正しいものを一つ選べ。(H30-6)

- 1 ヘルスプロモーション
- 2 プライマリー・ヘルスケア
- 3 ヘルスマニタリング
- 4 ヘルスコンシャス

問 6 1986 年にWHOが示した「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義される、健康観について、正しいものを一つ選べ。(H29-4)

- 1 プライマリー・ヘルス・ケア
- 2 ワイマール憲章
- 3 アルマ・アタ宣言
- 4 ヘルスプロモーション

問 7 WHO(世界保健機関)憲章における健康の定義に関する記述について、正しいものを一つ選べ。(H27-4)

- 1 健康とは、疾病や虚弱でない状態であることだけをいう。
- 2 健康とは、単に疾病や虚弱でないということだけではなく、疾病に対する抵抗力に合わせ、体力がある状態であることをいう。
- 3 健康とは、単に疾病や虚弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態であることをいう。
- 4 健康とは、単に疾病や虚弱でないということだけでなく、栄養の状態がよいことをいう。

問 8 次の文章は、憲法第 25 条の条文であるが、()に入る語句の組合せについて、正しいものを一つ選べ。(H26-4)

すべて国民は、(A)な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、(B)及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

- | | A | B |
|---|--------|------|
| 1 | 平和で民主的 | 生存保障 |
| 2 | 平和で社会的 | 社会保障 |
| 3 | 健康で社会的 | 生存保障 |
| 4 | 健康で文化的 | 社会保障 |

問9 次のうち、健康に関する記述で、()に入る語句の組合せとして、正しいものはどれか。(H25-4)

世界保健機関憲章では、健康の定義を「健康とは、単に病気でないとか、病弱でないということだけではなく、肉体的にも(A)にも、また(B)にも完全に良好な状態である。」としている。

	A	B
1	精神的	社会的
2	精神的	経済的
3	文化的	社会的
4	文化的	経済的

正答・解説【過去問】

問1 正答1

1 WHO(世界保健機関)の定義では、健康とは、肉体的・精神的・社会的に完全に良好な状態である。

問2 正答3

健康とは、単に病気や病弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態である。

問3 正答3

すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

問4 正答3

健康とは、単に病気や病弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態である。

問5 正答1

1 WHOが示した「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」をヘルスプロモーションという。

問6 正答4

4 WHOが示した「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」をヘルスプロモーションという。

問7 正答3

3 健康とは、単に疾病や虚弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態であることをいう。

問8 正答4

すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

問 9 正答 1

健康とは、単に疾病や虚弱でないということだけでなく、肉体的、精神的並びに社会的に完全に良好な状態であることをいう。

<公害>



【最重要キーワード】

不快感や生活妨害の原因である騒音の強さを表す騒音値の単位として、「dB(デシベル)」が用いられる。

水質汚濁の発生源として、近年最も多いのは生活排水である。

メチル(有機)水銀は水質基準

PM2.5は大気汚染の環境基準

水俣病は、メチル水銀(有機水銀)が原因

二酸化炭素(CO₂)は大気汚染の環境基準ではない。

イタイイタイ病は、カドミウムが原因

一酸化炭素や二酸化窒素は、大気汚染物質である

四大公害

水俣病	メチル水銀	熊本県水俣湾	神経障害、平衡機能障害
第二水俣病	メチル水銀	新潟県阿賀野川流域	神経障害、平衡機能障害
イタイイタイ病	カドミウム	富山県神通川流域	骨軟化症・腎機能障害
四日市ぜんそく	亜硫酸ガス	三重県四日市市	気管支炎、ぜんそく

(水質基準)

化学的酸素要求量 (COD)	水中の有機物を酸化するために必要な酸素量。海や湖沼の水質基準。
生物化学的酸素要求 量(BOD)	水中の有機物を酸化分解するために微生物が必要とする酸素量。河川の水質基準。

(大気汚染基準)

二酸化窒素	せき・たん	光化学オキシダントを起こす
光化学オキシダント	眼痛・喉痛	二酸化窒素が紫外線を受けた光化学反応
一酸化炭素	一酸化炭素中毒	無色・無臭の気体。自動車の排ガス。
二酸化イオウ(亜硫酸ガス)	せき・ぜんそく	石油・石炭の燃焼。酸性雨の原因物質。
浮遊粒子状物質(SPM)	せき・ぜんそく	工場のばいじんや粉じん
超小粒子状物質(PM2.5)	ぜんそく、気管支炎	髪の毛の30分の1の大きさ

覚えよう！【出た順まとめ】

(水質汚濁)

- ★★★COD(化学的酸素要求量)は水質汚濁基準(R5)(H29)(H30)
- ★★★水質汚濁の原因として、一般家庭から出る生活排水が最も多い。(R4)(R2)(H30)
- ★★pHは水質汚濁基準(R5)(H29)
- ★★水質汚濁は、主に下水や産業排水などが公共用水域に流入することにより引き起こされる。(H28)(H26)
- ★★BOD(生物化学的酸素要求量)は水質汚濁基準(H29)(H30)
- ★メチル(有機)水銀は水質基準。(H31)
- ★水の安全性確保のため、我が国では水道法により、飲料水の水質基準が定められている。(H30)
- ★受水槽の衛生管理は、設置者の責任であり、定期的な清掃や点検など適正な管理が重要である。(H30)

(大気汚染)

- ★★★二酸化硫黄(SO₂)などの主な大気汚染物質について、環境基準が定められている。(R4)(H27)(H26)
- ★★★NO₂(二酸化窒素)など窒素酸化物は大気汚染の環境基準(R5)(H31)(H28)
- ★★★CO(一酸化炭素)は大気汚染の環境基準(R5)(H31)(H27)
- ★★浮遊粒子状物質(SPM)は大気汚染の環境基準(H31)(H27)
- ★PM2.5は粒子状の物質であり、肺の奥深くまで入り呼吸器系に影響を与える(R5)
- ★光化学オキシダントは、目やのどの刺激を引き起こす。(R2)
- ★PM2.5は大気汚染の環境基準(H29)
- ★二酸化炭素(CO₂)は大気汚染の環境基準ではない。(H27)

(公害)

- ★★★水俣病は、メチル水銀(有機水銀)が原因。(R5)(H28)(H26)
- ★★イタイイタイ病は、カドミウムが原因である。(H28)(H26)
- ★環境基本法では、大気汚染、騒音、水質汚濁の他に、土壌汚染、振動、地盤沈下、悪臭が公害の原因とされている。(R4)

(騒音)

★不快感や生活妨害の原因である騒音の強さを表す騒音値の単位として、「dB(デシベル)」が用いられる。(R4)

★騒音は、心身に不快感や日常生活の妨害などの影響を及ぼす。(R2)

(悪臭)

★悪臭の苦情で最も多いのは、野外焼却によるものである。(R2)

解いてみよう！【過去問】

問1 公害に関する記述について、正しいものの組合せを一つ選べ。(R5-9)

- ア 新潟水俣病は、工場排水に含まれるカドミウムが原因で起こった神経系疾患である。
- イ PM2.5は、粒子状の物質であり、肺の奥深くまで入り呼吸器系に影響を与える。
- ウ pHやCOD(化学的酸素要求量)は、環境基準で基準値が定められていない。
- エ 一酸化炭素や二酸化窒素は、大気汚染物質である。

- 1 ア、ウ
- 2 ア、エ
- 3 イ、ウ
- 4 イ、エ

問2 公害に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R4-11)

- 1 二酸化硫黄などの主な大気汚染物質について、環境基準が定められている。
- 2 不快感や生活妨害の原因である騒音の強さを表す騒音値の単位として、「Hz(ヘルツ)」が用いられる。
- 3 水質汚濁の原因として、一般家庭から出る生活排水が問題となっている。
- 4 環境基本法では、大気汚染、騒音、水質汚濁の他に、土壤汚染、振動、地盤沈下、悪臭が公害の原因とされている。

問3 公害に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(R2-10)

- 1 悪臭の苦情で最も多いのは、野外焼却によるものである。
- 2 騒音は、心身に不快感や日常生活の妨害などの影響を及ぼす。
- 3 光化学オキシダントは、目やのどの刺激を引き起こす。
- 4 水質汚濁の発生源として、近年最も多いのは工場排水である。

問 4 大気汚染に係る環境基準に定められている物質として、誤っているものを一つ選べ。(H31-9)

- 1 CO(一酸化炭素)
- 2 浮遊粒子状物質
- 3 メチル(有機)水銀
- 4 NO₂(二酸化窒素)

問 5 安全な水の確保について、誤っているものを一つ選べ。(H30-11)

- 1 日常生活に伴って家庭から出る「生活排水」は、我が国では、下水道が普及しているので、特に環境汚染の問題とならない。
- 2 水質汚染を調べるものさしとして、BOD(生物化学的酸素要求量)とCOD(化学的酸素要求量)が用いられる。
- 3 水の安全性確保のため、我が国では水道法により、飲料水の水質基準が定められている。
- 4 受水槽の衛生管理は、設置者の責任であり、定期的な清掃や点検など適正な管理が重要である。

問 6 下水や産業排水の汚染度を示す項目として、誤っているものを一つ選べ。(H29-11)

- 1 COD(化学的酸素要求量)
- 2 PM_{2.5}
- 3 BOD(生物化学的酸素要求量)
- 4 pH

問 7 公害に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H28-8)

- 1 水質汚濁は、主に下水や産業排水などが公共用水域に流入することにより引き起こされる。
- 2 窒素酸化物は、大気汚染を引き起こす。
- 3 水俣病は、PCB(ポリ塩化ビフェニル)が原因である。
- 4 イタイイタイ病は、カドミウムが原因である。

問 8 大気汚染に係る環境基準に定められている物質として、誤っているものを一つ選べ。
(H27-8)

- 1 一酸化炭素(CO)
- 2 二酸化炭素(CO₂)
- 3 二酸化硫黄(SO₂)
- 4 浮遊粒子状物質(SPM)

問 9 公害に関する記述について、誤っているものを一つ選べ。(H26-10)

- 1 水質汚濁は、主に下水や産業排水などが公共用水域に流入することにより引き起こされる。
- 2 硫黄酸化物は、大気汚染を引き起こす。
- 3 イタイイタイ病は、六価クロムが原因である。
- 4 水俣病は、有機(メチル)水銀が原因である。

正答・解説【過去問】

問1 正答4

- ア 新潟水俣病は、工場排水に含まれるメチル水銀が原因で起こった神経系疾患である。
- ウ pHやCOD(化学的酸素要求量)は、環境基準で基準値が定められている

問2 正答2

- 2 不快感や生活妨害の原因である騒音の強さを表す騒音値の単位として、「dB(デシベル)」が用いられる。

問3 正答4

- 4 水質汚濁の発生源として、近年最も多いのは生活排水である。

問4 正答3

- 3 メチル(有機)水銀は水質基準。

問5 正答1

- 1 水質汚濁の発生源として、近年最も多いのは生活排水である。

問6 正答2

- 2 PM2.5は大気汚染。PMとは微小粒子状物質で、2.5 は 2.5 マイクロメートル

問7 正答3

- 3 水俣病は、メチル水銀(有機水銀)が原因。PCB(ポリ塩化ビフェニル)が原因だったのは、カネミ油症事件。

問8 正答2

- 2 二酸化炭素(CO₂)は基準にはない。基準物質には、一酸化炭素、二酸化窒素、二酸化硫黄、SPM、光化学オキシダントがある。

問9 正答3

- 3 イタイイタイ病は、カドミウムが原因。六価クロムは、東京江東区の日本化学工業の土壌汚染の原因物質。

<保健所の業務>



【最重要キーワード】

ペット等家庭動物に関する事項は都道府県環境部

事業場における労働衛生に関する事項は厚生労働省

消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項は消費生活センター

家畜の感染症予防に関する事項は農林水産省

地域保健法 第六条

第六条 保健所は、次に掲げる事項につき、企画、調整、指導及びこれらに必要な事業を行う。

- 一 地域保健に関する思想の普及及び向上に関する事項
- 二 人口動態統計その他地域保健に係る統計に関する事項
- 三 栄養の改善及び食品衛生に関する事項
- 四 住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項
- 五 医事及び薬事に関する事項
- 六 保健師に関する事項
- 七 公共医療事業の向上及び増進に関する事項
- 八 母性及び乳幼児並びに老人の保健に関する事項
- 九 歯科保健に関する事項
- 十 精神保健に関する事項
- 十一 治療方法が確立していない疾病その他の特殊の疾病により長期に療養を必要とする者の保健に関する事項
- 十二 感染症その他の疾病の予防に関する事項
- 十三 衛生上の試験及び検査に関する事項
- 十四 その他地域住民の健康の保持及び増進に関する事項

覚えよう！【出た順まとめ】

(栄養改善・食品衛生)

★★★★★栄養の改善及び食品衛生に関する事項(R2)(H30)(H29)(H28)(H25)

(環境衛生)

★★★衛生上の試験及び検査に関する事項(H30)(H29)(H27)

★住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項(R2)

(母性乳幼児老人保健)

★★★母性及び乳幼児、老人の保健に関する事項(H29)(H28)(H25)

(公共医療・医事・薬事・精神保健)

★★精神保健に関する事項(R4)(H28)

★★医事及び薬事に関する事項(R2)(H27)

★公共医療事業の向上と増進に関する事項(R4)

★歯科保健に関する事項(H28)

(地域保健)

★★地域住民の健康の保持・増進に関する事項(H30)(H25)

★地域保健に関する思想の普及や向上に関する事項(H27)

(感染症)

★エイズ、結核、性病、伝染病その他の疾病の予防に関する事項(R4)

(保健所の業務でないもの)

★★★消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項は消費生活センター。(H30)(H28)(H25)

★★事業場における労働衛生に関する事項は厚生労働省。(R2)(H27)

★家畜の感染症予防に関する事項は農林水産省。(H29)

★ペット等家庭動物に関する事項は都道府県環境部。(R4)

解いてみよう！【過去問】

問 1 地域保健法に規定する保健所の事業として、誤っているものを一つ選べ。(R4-4)

- 1 精神保健に関する事項
- 2 ペット等家庭動物に関する事項
- 3 公共医療事業の向上と増進に関する事項
- 4 エイズ、結核、性病、伝染病その他の疾病の予防に関する事項

問 2 地域保健法に規定する保健所の事業として、誤っているものを一つ選べ。(R2-5)

- 1 栄養の改善及び食品衛生に関する事項
- 2 医事及び薬事に関する事項
- 3 事業場における労働衛生に関する事項
- 4 住宅、水道、下水道、廃棄物の処理、清掃その他の環境の衛生に関する事項

問 3 地域保健法により規定されている保健所の業務について、誤っているものを一つ選べ。(H30-5)

- 1 衛生上の試験及び検査に関する事項
- 2 消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項
- 3 栄養の改善と食品衛生に関する事項
- 4 地域住民の健康の保持・増進に関する事項

問 4 地域保健法により規定されている保健所の業務について、誤っているものを一つ選べ。(H29-5)

- 1 栄養の改善と食品衛生に関する事項
- 2 母性及び乳幼児、老人の保健に関する事項
- 3 衛生上の試験及び検査に関する事項
- 4 家畜の感染症予防に関する事項

問 5 地域保健法により規定されている保健所の業務について、誤っているものを一つ選べ。(H28-4)

- 1 栄養の改善と食品衛生に関する事項
- 2 歯科保健、精神保健に関する事項
- 3 母性や乳幼児、老人の保健に関する事項
- 4 消費生活に関する相談や啓発に関する事項

問 6 地域保健法により規定されている保健所の業務について、誤っているものを一つ選べ。(H27-5)

- 1 医事及び薬事に関する事項
- 2 事業場における労働衛生に関する事項
- 3 衛生上の試験、検査に関する事項
- 4 地域保健に関する思想の普及や向上に関する事項

問 7 次のうち、地域保健法により規定されている保健所の業務として、誤っているものはどれか。(H25-5)

- 1 栄養の改善と食品衛生に関する事項
- 2 母性や乳幼児、老人の保健に関する事項
- 3 消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項
- 4 地域住民の健康の保持・増進に関する事項

<保健所の業務> 正答・解説【過去問】

問1 正答2

2 ペット等家庭動物に関する事項は都道府県環境部。

問2 正答3

3 事業場における労働衛生に関する事項は厚生労働省。

問3 正答2

2 消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項は消費生活センター。

問4 正答4

4 家畜の感染症予防に関する事項は農林水産省が行う。

問5 正答4

4 消費生活に関する相談や啓発に関する事項は消費生活センター。

問6 正答2

2 事業場における労働衛生に関する事項は厚生労働省。

問7 正答3

3 消費者生活相談情報の収集・分析・提供に関する事項は消費生活センター。